

令和元年度 外部講師活用事業（特色ある学校づくり）実施報告書

宮城県大河原商業高等学校（全日制）

研修会・講習会の名称	「情報通信統計システム」活用講習会
講師の所属・役職と氏名	神戸大学医学部附属病院医療情報部 准教授・副部長 同 上 診療録センター 副センター長 高岡 裕
日 程	令和元年11月11日(月), 12日(火)
研修会・講習会の内容	<p>本校全日制3年生を対象として2日間で6時間分（3種）の講義を実施した。（講義は学科の特性・学習内容に応じた以下の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マネジメントと情報 （流通マネジメント科3年生 2クラスで実施） ○コンピューターと情報 — 人工知能関連技術・情報の利用 — （情報システム科3年生 2クラスで実施） ○情報とその可能性 （OA会計科2年生 3年生 各1クラスで実施）
感想・評価	<p>我が国が世界に誇る巨大コンピューター「京」は、様々な分野の研究に活用され日本の科学技術の発展に大きく貢献してきた。このスーパーコンピューター「京」は今年で役割を終え、「京」の100倍の情報処理能力を有する「富岳」（富士通がスポンサー、運営者が神戸市にある理化学研究所）が稼働する準備が進められている。</p> <p>神戸大学で教鞭を執る高岡先生は、ご自身の研究でスーパーコンピューターを、データ収集・情報解析等で活用することで第一線の研究をしている。豊富な知見に基づいた、各学科の生徒のニーズに的確に応える講義内容であり、生徒のそれぞれの進路先で活用できる教授内容であった。</p> <p>特に、ホームページ等で入手できる医療圏等の既存の公開データ等を活用することでマーケティングの諸分析が可能であるといった分野・領域を超えた幅広い視点や柔軟な発想について紹介いただいたことが、多くの生徒の心をつかんだと考えられる。</p> <p>実際に生徒の感想として、以下のようなものがあつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「マネジメントと情報」について <ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、国民の4人に1人が65歳以上となるかつてない高齢化社会になる。これに対応する医療保険制度の在り方や、介護等の医療従事者の確保について、科学的な分析をよりどころにして将来を予測することお話が大変興味深かった。 ・地元の「みやぎ県南中核病院」についての施設・医療評価のお話もしていただき、講義が身近に感じた。 ・アメリカをはじめ、世界各地の医療保険制度について、貴重なお話が伺えた。その特長を「マネジメントと情報」の切り口で、わかりやすくお話しいただけた。私は看護学校に進学するので、今回の講義は大変貴重でありがたかった。

	<p>○「コンピューターと情報 ―人工知能関連技術・情報の利用―」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療現場での利用の観点から「情報とAI」の話をしていただいたことが大変興味深かった。私は基本情報技術者試験を受けて、この資格を生かして医療情報技師になりたいと思っているのですが、将来はユニバーサルな仕事ができるよう頑張っていきたいと思った。 ・「ビタミンB6」の摂取に関する健康への影響についてのお話が印象に残っています。各個体の遺伝上の形質によって、大腸がんの発症リスクを高めてしまうことに驚きました。それぞれが、情報を適正に集約・分析することが重要だということをお学びました。 <p>○「情報とその可能性」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義のお話を聞いて、断片的な情報だけでは正しい判断をすることが難しいこと、無意識のうちに偏見を持ったり思い込みがあったりすることで、ものの捉え方が人によって変わってしまうことを実感しました。今後、社会に出たときに情報の見極めをしっかりと行えるよう心がけていきたいです。 ・興味深い内容で、あっという間に講義が終わってしまいました。情報解析、分析を研究に用いることの重要性を教えていただいたことに感謝しています。 <p>さらには、放課後に生徒の質問や相談に個別対応していただいたり、放課後も部活動の様子など、本校の教育活動に対して関心を持っていただけていることが大変ありがたかった。</p> <p>今回も、講義を参観した教職員からも講義内容や構成・講師の話術の巧みさに関して高い評価を得ており、参考になるものが多かったという声が職員室でも聞かれた。</p>
<p>特色ある学校づくりへの今後の計画</p>	<p>様々な分野に関する情報を扱い研究の第一線で活躍する高岡先生が、3学科の特性に配慮した講義内容をご準備いただいたことで「流通」「情報処理」「マーケティング」といった、高等学校商業教育の基幹となる学習領域に対する思索を深めたことが、今後の生徒たちの学習意欲の喚起に大きく結び付くものと考えます。</p> <p>さらには、次年度以降については「魅力ある県立学校づくり支援事業」として再実施して行きたい「デジタル・マーケティング」演習との関連性を意識した指導を今後も依頼していきたいと考えている。</p> <p>4年後に開校する南部地区職業教育拠点校の教育計画づくりにおいて、地域産業との協働や、地域経済の推移等の分析は非常に重要な意味があると捉えている。本事業を通して確保されているこうした学びの機会が継続的かつ発展的に維持されることが、本校教育活動に結び付くのみならず、再編統合校の学習計画づくりにも大きく貢献すると考えている。今後も本事業を通したさらに充実した「情報通信統計システム」活用講習会が実施できるよう、事前・事後指導を含めた学習計画を研究していきたい。</p>